



2014年3月25日

お客様向け資料

BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

ブラジルの格下げについて

格付け会社スタンダード・アンド・プアーズ（S & P）は3月24日、ブラジルの長期外債建てツプリン格付けを「BBB」から投資適格級で最も低い「BBBマイナス」に1段階引き下げました。一方、見通しは「ネガティブ」から「安定的」に変更しました。S & Pの発表資料によれば、「格下げは、財政の悪化や、向こう数年にわたり抑制された成長の中で財政執行が引き続き低迷すると見通し、10月の大統領選を控えて政策調整能力が制約されること、ブラジルの対外収支が幾分悪化するといった複合的要因を反映している」と指摘しております。

現在のところ、金融市場への影響は限定的であり、25日早朝の東京時間の為替市場は比較的落ち着いた推移となっております。

本資料は、BNP パリバ アセットマネジメント ブラジルが作成した資料をもとに、BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解等を提供することを目的として、上記日付に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。